

グローバルサウスのGX促進プロジェクト事務局業務委託 契約事業者選定基準

グローバルサウスのGX促進プロジェクト事務局業務委託に係る契約事業者選定基準については、次のとおりとする。

1 審査機関

- (1) 本委託業務にかかる技術点の審査及び評価については、グローバルサウスのGX促進プロジェクト事務局業務委託事業者選定委員会（以下「選定委員会」という。）において実施する。
- (2) 選定委員会は、仕様書に記載している体制、機能及び技術等の必要要件を満たしているかの判断、以下2の(2)に基づき付与する点数の判断及び本案件の実施要領に基づき民間事業者から提出される技術提案書の内容について審査、評価する。

2 契約事業者選定基準

(1) 契約事業者の決定方法

ア 契約事業者は、次に掲げる各要件に該当する入札者のうち、技術点及び価格点の合計点（以下「総合評価評点」という。）が最も高いものとする。

(ア) 入札価格が予定価格の制限の範囲内であること。

(イ) 技術点の評価で無効となっていないこと。

無効は以下のとおりとする。

- ① 総得点が「0点」以下の場合
- ② 提出が必須とされた資料を未提出の場合
- ③ 技術点の評価するために提出された資料及び様式の内容に虚偽及び捏造が確認された場合

イ 総合評価評点と同じ入札者が二者以上あるときは、直ちに当該入札者にくじを引かせて契約事業者を決定する。

(2) 総合評価評点の構成及び技術点の配分内訳

総合評価評点は、750点満点とする。得点の配分は、技術点500点及び価格点250点とする。

なお、技術点の配分内訳は次のとおりとする。

技術提案書の審査、評価項目、及び配点（技術点）に係る点数配分表

○評価項目

評価項目		配点
1	適切な事業計画・事業体制・履行能力 小計 a	<u>40</u>
	(1) 業務計画、実施体制の有効性・独創性、実現可能性等	20
	(2) 履行能力を示す実績等	10
	(3) 効果の高い施策検討への体制構築	10
2	全体スキーム構築 小計 b	<u>60</u>
	(1) 業務趣旨の理解	30
	(2) 効果の高い調査方法の提案	30
3	ニーズ等発掘 小計 c	<u>100</u>
	(1) 業務趣旨の理解	50
	(2) 効果の高い検討方法の提案	50
4	連携サポーターの登録 小計 d	<u>40</u>
	(1) 業務趣旨の理解	20
	(2) 効果の高い検討方法の提案	20
5	事前エントリー企業の掘起し・誘引・受付、申請企業の誘引、公募受付・審査補助、採択結果通知・交付申請受付・審査補助 小計 d	<u>60</u>
	(1) 業務趣旨の理解	30
	(2) 効果の高い検討方法の提案	30
6	計画策定・フィジビリティスタディ等の支援、渡航支援、実証等への移行時評価、現地マッチング等ハンズオンの実施、実績報告書等の支援 小計 e	<u>100</u>
	(1) 業務趣旨の理解	50
	(2) 効果の高い検討方法の提案	50
7	現地PRイベント、情報発信 小計 f	<u>40</u>
	(1) 業務趣旨の理解	20
	(2) 効果の高い検討方法の提案	20
8	仕事と家庭の両立支援・女性の活躍推進に係る評価項目 小計 g	<u>50</u>
	東京ライフ・ワーク・バランス認定企業	いずれかを満たしている場合 30
	東京都女性活躍推進大賞	
	次世代育成支援対策推進法に基づく認定（くるみんマーク認定）	
	均等・両立推進企業表彰	
	女性活躍推進法に基づく基準適合一般事業主認定（えるぼし認定）	
	家庭と仕事の両立支援推進企業	
	TOKYO パパ育児促進企業	
	女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画の策定・公表	20
9	環境への配慮 小計 h	<u>10</u>
	SBT 認定(Science Based Targets)	10
技術点合計 (a+b+c+d+ e + f + g + h)		<u>500</u>

3 技術点及び入札価格の評価方法

技術点及び入札価格の評価については、次のとおり行うこととする。

(1) 技術点の評価について

技術点の評価は、技術提案書及びヒアリングによって行う。

ア 2の(2)に記載した評価項目について

選定委員会委員は、評価項目の区分ごとに評価し各配点を満点として採点した点数を付与する。なお、契約事業者決定基準における評価の内容、観点については、4に記載したとおりとする。

イ 技術提案書の技術点について

選定委員会委員の採点を平均した点をもってその技術点とする。ただし、各評価項目1から6の区分のうち、出席委員の過半数が0点を付けた項目が1つでもある者については、技術点を0点として取り扱う。

(2) 入札価格については、その価格に応じ、点数化するものとする。

点数化の方法については、次に示す方法による。

「価格点＝満点の価格点－（入札価格／予定基準価格）×満点の価格点」

(3) 技術点及び価格点は、いずれも小数点以下1桁までの数値とし、小数点以下2桁目は四捨五入する。

(4) その他

ア 女性の活躍推進

東京ライフ・ワーク・バランス認定企業については東京都知事等が贈呈した認定証等の書状の写し、東京都女性活躍推進大賞については東京都知事が贈呈した書状の写し、次世代育成支援対策推進法に基づく認定については基準適合一般事業主認定通知書の写し、均等・両立推進企業表彰については厚生労働大臣等が贈呈した表彰状の写し、女性活躍推進法に基づく基準適合一般事業主認定（えるぼし認定）については基準適合一般事業主認定通知書の写し女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画の策定・公表については一般事業主行動計画策定届の写し、家庭と仕事の両立支援推進企業については東京都家庭と仕事の両立支援推進企業登録証の写し、TOKYO パパ育児促進企業についてはTOKYO パパ育児促進企業登録決定通知書等の写しにより、評価する。

イ 環境への配慮

認定取得を証明できる書類の写し（SBTiのホームページ等）により、評価する。

ウ 事故及び不誠実な行為

基準日（※）の3年前の日から起算して3年の間に、東京都競争入札参加有資格者指名停止等措置要綱（平成18年4月1日付17財経総第1543号）に基づく指名停止を受けている場合に当該案件における技術点の満点の10%（50点）を減点する。

ただし、指名停止中又は指名停止期間終了後に、当該指名停止の措置要件に該当することとなった事実又は行為について責を負わないことが明らかとなった場合は、当該指名停止が上記対象期間内にあったとしても、事故及び不誠実な行為の実績点についての評価は行わないこととする。

※ 各四半期の初日（4月1日、7月1日、10月1日及び1月1日）のうち、発注予定の公表を開始する日の直前のものをいう。ただし、発注予定の公表を開始する日が各四

半期の初日の場合は、該当する各四半期の初日とする。

4 仕様を満たさない提案について

仕様書で定められた数値等を明らかに満たさない提案書については、無効となることに留意すること。

5 契約事業者決定基準における評価の内容、観点

項目	評価の観点、内容
1 適切な事業計画・事業体制・履行能力	
(1) 業務計画、実施体制の有効性・独創性、実現可能性等	<ul style="list-style-type: none"> ・業務期間全体において具体的・実効的かつ効果の高い業務計画が策定されているか（業務内容、経験件数、本事業に有用な実績、人数等を記載） ・事業趣旨を理解し、目的達成に向けた効果的な計画が策定されているか ・十分な調査・検討・支援等が可能な体制が構築されているか ・受託期間を通じた資金計画が適切に策定され、各項目に対する配分が妥当なものとなっているか ・経費執行にあたり確実な体制が構築され、遺漏なく執行管理できるか
(2) 履行能力を示す実績等	<ul style="list-style-type: none"> ・同種の履行実績やグローバルサウス諸国における拠点・連携体制等を有するなど、十分な履行能力を有することが具体的に論証されているか
(3) 効果の高い事務局業務の体制構築	<ul style="list-style-type: none"> ・本業務が一般的な事務局委託にとどまらず、企業の海外進出を支援する伴走型業務である点を理解し、それに適した人員の選定・配置をしているか。
2 全体スキーム構築	
(1) 業務趣旨の理解	<ul style="list-style-type: none"> ・支援プログラムの各項目について、事業の実効性を高めるため、企業による円滑な申請等につながる観点に加え、的確な審査等にもつなげる観点から、バランスの取れたスキーム詳細案や様式を提案することができるか
(2) 効果の高い方策の提案	<ul style="list-style-type: none"> ・事業のプロセスで想定される課題やその対応策に加え、グローバルサウス諸国における事業である特性を考慮し、類似事例や各国の状況などについて、的確に把握するための方策が提示されているか
3 ニーズ等発掘	
(1) 業務趣旨の理解	<ul style="list-style-type: none"> ・都内の中堅・中小企業やスタートアップのもつ優れた脱炭素化技術を網羅的に把握するとともに、グローバルサウス諸国におけるエネルギー消費の動向や商習慣等現地進出に必要な情報を的確に収集できる業務計画となっているか。 ・進出有望国や重点テーマについて、事前エントリー企業による円滑な応募につながる観点を踏まえ、分かりやすいとりまとめを行う業務計画となっているか。 ・都内の中堅・中小企業やスタートアップによる現地での事業化にあたって想定される取組や課題などを踏まえ、進出有望国等の経済団体などと広範かつ効果的な協力体制を構築することのできる業務計画となっているか。
(2) 効果の高い検討方法の提案	<ul style="list-style-type: none"> ・進出有望国や重点テーマについて、事例やヒアリングなどにより、的確に分析し、都内企業の技術と特に親和性の高いポイントや進出にあたって想定される課題への対応策なども踏まえた提案を行う計画となっているか。 ・仮説構築や検証など、進出有望国や重点テーマについて、提案の実効性を効果的に高める方策が提示されているか。 ・都内の中堅・中小企業やスタートアップの特性を踏まえ、様々な具体例も盛り込むなど、幅広い応募企業の確保につながるための方策が提示されているか。 ・進出有望国や重点テーマを踏まえ、必要となる協力体制の枠組みを包括的に検討するとともに、現地団体等への多面的なアプローチなど体制構築の実効性を高める方策が提示されているか。
4 連携サポーターの登録	
(1) 業務趣旨の理解	<ul style="list-style-type: none"> ・都内企業が本事業を通じて海外において事業化を進めるにあたり、想定される課題の解決や取組の加速化に資する分野について、分析を行い、実績なども踏まえ、実効性ある連携サポーターの提案を行う業務計画となっているか。
(2) 効果の高い検討方法の提案	<ul style="list-style-type: none"> ・事前エントリーのスケジュールも踏まえながら、広範な連携サポーターを誘引することのできる方策が提示されているか。
5 事前エントリー企業の掘起し・誘引・受付、申請企業の誘引、公募受付・審査補助、採択結果通知・交付申請受付・審査補助	
(1) 業務趣旨の理解	<ul style="list-style-type: none"> ・地域やテーマのバランスにも配慮しつつ、実現可能性の高い事前エントリー候補リストを作成するとともに、着実に申請につながるプロセスを提示する業務計画となっているか。 ・審査補助にあたって、脱炭素化の効果や事業化可能性の高い提案を選び出すことのできる業務計画となっているか。
(2) 効果の高い検討方法の提案	<ul style="list-style-type: none"> ・事前エントリー候補リストにおいて進出有望国や重点テーマに沿った十分な企業数を示すことのできる具体的な方策が示されているか。 ・進出有望国におけるモデルケースの例示を行うとともに、申請検討を行う企業において想定される課題などへの対応策について説明会や問い合わせ対応などを通じた解消を図るなど、多様な企業による相当数の申請につながることで具体的な方策が提示されているか。 ・申請者の申請内容を多角的に分析するとともに、客観的に比較可能な整理を行う方策が示されているか。
6 計画策定・フィジビリティスタディ等の支援、渡航支援、実証等への移行時評価、現地マッチング等ハンズオンの実施、実績報告書等の支援	
(1) 業務趣旨の理解	<ul style="list-style-type: none"> ・交付決定企業の実施する計画策定やフィジビリティスタディについて、実現可能性を高めるためのサポートを行う業務計画となっているか。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンズオンにあたって、現地の情勢や特性に即した実効的な支援を行うとともに、事業化に向けて必要な手続きについて包括的な支援を行う業務計画となっているか。
(2) 効果の高い検討方法の提案	<ul style="list-style-type: none"> ・交付決定企業の実施する計画策定やフィジビリティスタディについて、効果的な分析を通じて、実施のサポートを行うとともに、現地渡航などに際して十分な協議先を確保するなど、効果的なサポートを実現するための具体的な方策が示されているか。 ・現地事情に精通し、日系企業の進出支援実績のある者を含めるとともに、業種に応じて必要となる手続きを支援する者によるサポートを適時に提供するなど、地域や業種の異なる相当数の企業に対して、的確なハンズオン支援を行う体制を構築できる方策が示されているか。
7 現地PRイベント、情報発信	
(1) 業務趣旨の理解	<ul style="list-style-type: none"> ・交付決定企業について、世界諸都市も対象としたPRを行う業務計画となっているか。
(2) 効果の高い検討方法の提案	<ul style="list-style-type: none"> ・現地企業も参加したピッチイベントの企画など、交付決定企業の効果的なPRにつながる具体的な方策が提示されているか。
8 仕事と家庭の両立支援・女性の活躍推進に係る評価項目	
	—
9 環境への配慮	
	—